

創立 1980年10月8日



ROTARY CLUB OF SAKAI NORTH

第2640地区 堺北ロータリークラブ週報

事務所 〒590-0024 堺市堺区向陵中町2丁5-10 杉本ビル5-B・Tel: (072) 255-1200 番

例会日 毎週金曜日 午後0時30分

例会場 PANTARON Tel: (072) 228-3988 番 (魚太郎直通電話)

URL : <http://www.sakai-kita.jp/>

E-mail : snrc@jasmine.ocn.ne.jp

ガバナー(第2640地区) 久保治雄(クボ ハルオ)

ガバナー事務所 URL : <http://www.rid2640g.org/kubo/>

E-mail : kubo-2013@rid2640.org

会長: 城岡陽志 幹事: 中川 澄 広報委員長: 池田茂雄 編集者: 綿谷伸一

四つのテスト 言行はこれに照らしてから 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日の例会

2014年3月7日(金)第1606回

卓話 「大相撲春場所」

卓話者 出羽海 昭和 様

今週の歌 「君が代」「奉仕の理想」

「バースディソング」

お客様の紹介

出席報告・会長の時間

委員会報告・幹事報告・SAA報告

○会員・奥様誕生祝い(3月度)

北側 一雄 会員(2日) 藤永 華恵 様(17日)

○結婚記念祝い(3月度)

藤永 誉 会員(17日) 徳田 稔 会員(27日)

澤井 久和 会員(27日)

次回の例会

2014年3月14日(金)第1607回

卓話 「社会奉仕月間」

卓話者 坂田 兼則 社会奉仕委員長

前回例会の報告

2014年2月28日(金)第1605回

卓話 「私の食えない時代」

卓話者 嶽盛 和三 会員

今週の歌 「R-O-T-A-R-Y」

「いつでも夢を」

お客様の紹介

出席報告・会長の時間

委員会報告・幹事報告・SAA報告

<2月28日(金)の出席報告>

会員数(会員31名・準会員1名) 32名

出席会員 19名

欠席会員 13名

ゲスト 0名

ビジター 0名

1月24日(金)の出席率 77.41%



2013-14年度 国際ロータリーのテーマ

ロータリーを 実践し みんなに豊かな人生を

ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

国際ロータリー会長 ロンD.バートン(ノーマン・ロータリークラブ)

卓 話

「私の食えない時代」

会員 嶽盛 和三



城岡会長様より、今年の卓話は、自分自身の苦勞した時代のことを話してほしいとの事ですので、会長様程の苦勞話はありませんが、思い出しながら卓話をさせていただきます。

私は皆さんもご存知のとおり僧侶、つまりお坊さんです。私たちの仕事は人が亡くなった後の葬儀、法事、月参り、その他ボランティア的な事として、座禅会、仏事相談、心のケア等が仕事としての大部分を占めています。

社会的な活動としては、保護司・行政相談員・民生委員・仏教テレホン相談員等も勤めておりましたが、現在は民生委員・仏教テレホン相談員を続けております。

私は 1951 年昭和 26 年三重県阿山郡大山田村（現在は伊賀市と名称変更）の地藏寺と言う小さなお寺の、男ばかり 3 人兄弟の末っ子として生を受けました。忍者のふるさと伊賀上野市から、約 8 キロ程東の方に入った山奥の村で、明るい農村、暗い生活の典型とも言える農業主体の過疎の村です。

今も私は小柄ですが、生まれたときは未熟児で大変小さかったようです。私の生まれた昭和 26 年はサンフランシスコ講和条約が締結された年で、将来にわたって平和であるように名前に平和の「和」と 3 番目と言うことで漢数字の「三」をつけてくれて、「かずみつ」と言っていました。小学校入学のときは、身長 1 メートルもなく、体重は 20 キロなかったとのことで、ランドセルが歩いているように見えたとの事です。地元の小学校、中学校に通いました。小学校は 2 クラブ、中学校は 3 クラブだったと記憶しております。私の寺は村外れに位置していましたので、学校まで 4 キロ程の距離を毎日徒歩で 9 年間通いました。当時はものの無い時代で私たちの生活は都会より 10 年遅れていたと思います。貧乏が当たり前の時代で、着る物は兄の古着で継ぎの当たった物を身につけて平気でいたように思います。

村は人口の流入も無く決まった 50 軒程の檀家数で、両親は百姓もしておりました。たんぼ 3 反、畑 1 反ぐらいでしょうか。まだ私たちの時代、農繁休業と言って農繁期学校が休みだったのを記憶しております。その当時、私の一番嫌だったことは、子ども同士の喧嘩などのとき、「お前ら俺たちが食わしてやってるんや」と檀家の子ども達に捨て台詞を言われること。私は子供心に、将来この村では暮らすまいと思ったきっかけだったと思います。それと共にその当時はお坊さんになりたくないとの思いもありました。

ところが、なにしろ貧乏寺で、三つ年上の兄がすでに入学しておりました高校に、お前も行けということで、愛知県の寺の寮で寺の仕事を手伝いながら、3 年間を過ごしました。兄は夜間部でしたが、私は夜間は勉強ができないので、かたくなに昼間部に行きたいと言いまして、それを通した訳です。

ところが私の高校 1 年の終わり、昭和 43 年 2 月 29 日閏年の日父親が脳溢血で亡くなり、益々自力での将来設計を迫られた訳です。

しかし私には当時夢があり、将来エンジニアになりたいという思いがありまして、高校卒業後機械設計の専門学校に 1 年間通学しました。

ところが、1 年間勉強しましたが、とても私には無理ということが簡単に理解できました。そこでもう観念致しまして、蛙の子は蛙です。今まで寺の世界にどっぷり浸かって来たわけですから、一代発起して永平寺に修行にでも行こうと思ったわけです。

ところが私の祖父が（母親の弟）永平寺は方角が悪いから総持寺へ行けと言われてまして、

横浜にある同じ曹洞宗の本山ですが、そこに昭和46年3月に上山安居しました。1年半程度経ったときに、守口のいところが面会に訪れ、おまえ大学に行かないか、と持ち掛けられまして、行き気があればアルバイトしながら学校に通えるところがあるから紹介する、と言ってくれた訳です。そこで早速47年8月から養護施設の指導員の手伝いとして勤めまして、今の家内と出会った訳です。昭和50年より正社員として扱ってもらい、昭和57年3月まで勤務しました。

今のお寺を紹介してくれたのも守口のいところによるものです。私も守口のいとこの寺で昭和57年4月より3年間勤め、その間に経営のノウハウを学びました。その寺にはもともと長く務めるつもりでしたが、先代が病気のため入院を繰り返しておりましたので、どうしてもこちらに来て欲しいと言うことで、昭和60年4月に、今の寺に家族共々引っ越してまいりました。

当初、私が入ったときは、檀家徒300軒足らずで、月参り70軒程度でした。老僧一人で守っておりましたのでそれぐらいそれが、一人で運営して行くのが精一杯だったと思います。いずれ私が住職になるわけですから、収入は先代のところに入るにしても前向きに努力する。後ろは振り向かない覚悟でやって行くことを心に決めました。

私が寺に入って3年目の昭和63年7月20日、先代住職が、脳梗塞で倒れて3日後に急逝してしまいました。

その時点で、今迄の一切の財産は全額放棄して、死亡退職金として先代住職の奥さんにすべてを渡しました。

1. 収入を増やす。(寄付金は一切もらわない)
2. 檀信者を増やす。
3. 土地を求め境内を整備する。

以上3つの目標を立て、目標達成のために邁進する。

1. ご存じのとおり、宗教法人は公益法人として非課税であります。皆さんの会社は利益の50%以上が税金として納めなければなりません。お寺は宗教活動からの収益には税金は発生しません。もちろん消費税もありません。ただ駐車場経営、賃貸業務、お礼お守りの売買には課税されます。このような優遇税制の中、声だけを使って商売のできるのには歌手か声優ぐらいのもので、これを最大限利用するには収入を増やして目標のために使用する。基本的にお布施は、檀信徒からの預かり金との意識をもつこと。収入が増えれば十分寺独自の運営が成り立つので一切寄付をもらわない。
2. 菩提寺のもたない家が都会にはたくさんおられる。そのような方を信徒として迎えるためには、業者とタイアップする。タウンページに掲載する。
3. 平成13年5月参拝者駐車場として借り受けていた土地400坪を買い求める。境内地が狭いために、求めた土地に将来本堂を建設予定。まだまだ、すべては達成していませんが、発展途上です。

会長の時間



会長 城岡 陽志

今日は松下幸之助さんと、京セラの稲盛会長の話をします。

これは稲盛会長が、独立して間もないころ、当時の松下さんが時代の急成長企業として注目されていた時代の話です。

稲盛さんが経営に悩み模索していた時、松下さんの講演会に出席した時の場面です。松下さんの講演テーマは、「ダム式経営」というテーマでした。川に例えると本来川の水は年中同じ量が流れて、各農地などや飲み水に活用されるのが理想です。でも干ばつや洪水で一定の量が確保できずに、農作物の被害がでて、価格が暴騰したり豊作で買ったたかれたりして、農家の収入が不安定で経営が安定しません。会社の経営も同じで、景気の変動で好況・不況が繰り返され経営が安定しません。

そこで松下さんの理論は「ダム式経営」と言って、いつも安定してダムに水を貯え、必要に応じて一定の量を流すのが理想であり「ダム式経営」をするべきという講演でした。

講演の後皆から質問があり、誰でも「ダム式経営」がいいのはわかっている、そのダムに貯める利益の出し方を教えてくれと、質問が相次ぎました。松下さんはしばらく考えて答えはそう思う心が大事ですと答えたそうです。会場からは不満の声が湧き上がったそうです。その時稲盛さんはその答えを聞いて体に電流が走ったそうです。要は心いかに強く思う心が一番大事だと気づかされ、それから経営手法を変えていったそうです。

念ずれば花開くという言葉があります。人間は思った通りになるとも言います。いかに強くなりたい気持ちを持つかどうか、人生を決めるという教えでした。



(松下 幸之助 氏)

委員会報告

親睦活動委員会

那須 宗弘 親睦活動委員長

「出羽海部屋とチャンコ会」



恒例に成りました出羽海部屋と堺北ロータリークラブの有志によります親睦会チャンコ会が執り行われました。

開会に先立ち出羽海部屋新旧師匠より挨拶があり、次に城岡会長が弁舌も爽やかに開会の挨拶をされました。後、若輩者の私那須の乾杯発声と共に親睦会が開催されました。

3月9日大阪場所に向け若い力士方々も緊張の稽古の合間で堺北クラブの皆様初め御家族関係者の皆様による激励は出羽海部屋一同にとりまして大変活気を与えられたものと思います。

今後も色々な形で出羽海部屋の方々との親交を深めて頂き日本文化の一つであります大相撲への御理解を頂きますれば幸いと存じます。

先ずは感謝を申し上げますと共に皆様方の更なるご協力をお願いし御挨拶とさせていただきます。

参加者

会 員	16名
会員家族	6名
お 客 様	11名
合 計	33名

S A A 報 告

- 那須宗弘会員 嶽盛さん今日の卓話楽しみにしています。
- 那須宗弘会員 中田さん綿谷さん祥雲寺でのチャンコ会盛りあげて頂き有難うございました。
- 城岡陽志会員 那須会員、チャンコではお世話になりました。
又、忘れ物を翌日届けてくれて有難う。律儀なあなたは善人です。
地獄ではなく必ず私と一緒に天国へゆけます。
- 嶽盛和三会員 今日は北クラブで初めての卓話をさせていただきます。
- 綿谷伸一会員 嶽盛さん卓話よろしく！食えない時代あったのですか？！
- 中田 学会員 嶽盛会員卓話楽しみにしています。
- 小西幹夫会員 嶽盛様の卓話を楽しみにしています。
- 塩見 守会員 今日は娘が高校を卒業しました。妻は式に出席しましたが、私は例会に出席しています。昨日の夜に断われてました。
- 藤永 誉会員 山中会員・山ノ内会員素晴らしい心づかいをいつも有難うございます。
- 合 計 24,000円

幹 事 報 告

- (1) 本日の配布物
・週報
 - (2) 幹事報告
大阪千代田ロータリークラブより例会場変更と例会開始時間の変更のお知らせがございました。
- 場所：旧 清教学園古野校舎
住所：〒586-0017 大阪府河内長野市古野町2-40
お問い合わせ先：090-3920-2814
曜日：毎週 木曜日（変更なし）
例会開始時間：20：00～
ビクターフィー：1,000円（変更なし）
- (3) 他クラブ例会変更のお知らせ
・堺南ロータリークラブ
3月10日(月)→3月4日(火) 16：00～ ホテル日航金沢
(金沢南RC創立45周年記念例会)
3月31日(月)→定款第6条第1節により休会

